

第 2 1 回 網走開発建設部 総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	平成 2 8 年 1 0 月 1 4 日 (金) 網走開発建設部 第 1 会議室
委員	黒瀧 秀久 (東京農業大学学部長)、高橋 清 (北見工業大学教授)、 三上 修一 (北見工業大学教授)、渡邊 康玄 (北見工業大学教授) (五十音順)
議事	<p>1. 平成 2 8 年上期総合評価落札方式 (工事・業務) の実施状況について</p> <p>2. 個別審査 工事の審査について</p> <p>①網走港 南防波堤建設工事 (施工能力評価型 I 型)</p> <p>②網走川応急対策事業の内新橋上流右岸外特殊堤補修工事 (施工能力評価型 I 型 施工計画重視型)</p> <p>業務の審査について</p> <p>③津別地区外 1 地区 農業工事監督支援業務 (標準型)</p> <p>④網走道路事務所管内 交通事故対策検討外一連業務 (簡易型)</p>
委員からの意見・質問、それに対する回答等	
意見・質問	説明・回答
<p><b>1 平成 2 8 年上期総合評価落札方式 (工事・業務) の実施状況について</b></p> <p>1) 施工能力評価型 I 型は、若手技術者育成型、地域維持型、一括審査型、施工計画重視型に分かれているがその違いは何か。</p> <p><b>2 個別審査</b></p> <p><b>①網走港 南防波堤建設工事 (施工能力評価型 I 型)</b></p> <p>1) 競争参加資格が A 等級、B 等級の社となっているが、各社の等級の違いにより、提出いただく各種様式で評価点の差が生じることはあるか。</p>	<p>1) ・若手技術者育成型は、監理技術者の経験のない技術者の育成のため、経験を積んでいただく発注方式。</p> <p>・地域維持型は、地域維持事業 (災害対応、除雪、インフラの維持管理の事業) の担い手確保に資するための発注方式。</p> <p>・一括審査型は、企業の技術力審査・評価を効率化するため、2 以上の工事において、提出させる技術資料 (技術提案及び施工計画を含む) の内容を同一とし、手続きを簡素化し評価を行う発注方式。</p> <p>・施工計画重視型は、「施工管理能力の確認 (書面)」の評価を重視することで、技術者の能力等をこれまで以上に発揮してもらうことができるような発注方式。</p> <p>1) 各社の等級の違いにより評価点に差が生じることはない。</p>

委員からの意見・質問、それに対する回答等	
意見・質問	説明・回答
<p>2) C社は当該工事での留意事項でNETIS項目を提案しているが、「有効な提案であるがNETIS項目で評価しているため評価は行わない」とあり評価されていない。有効な提案であるならば、今後はNETISも増えてくるため、評価してもよいと思われるが。</p> <p><b>②網走川応急対策事業の内 新橋上流右岸外特殊堤補修工事（施工能力評価型I型 施工計画重視型）</b></p> <p>1) C社とD社の1項目は、「H25年度から現在の工法で施工しているが、課題となっていない」との理由で評価されていないが、たまたま課題にならなっただけで、今後は課題になりうるのではないか。</p> <p>2) B社が「確認方法の記述が不足」となったのはB社のケアレスミスのためか。また、D社は、3「資材等運搬における安全対策について」の設問で、荷崩れ防止を提案しているが一般的な評価ではないのか。</p> <p><b>③津別地区外1地区 農業工事監督支援業務（一般競争入札 総合評価 標準型）</b></p> <p>1) 業務の性格上、地区特性が重要であるため、その評価のウェイトを高くすべきではないか。</p> <p><b>④網走道路事務所管内 交通事故対策検討外一連業務（簡易公募型競争入札 総合評価簡易型）</b></p> <p>1) 工程表の評価で、作業項目が適切でないと評価した理由は何か。また、進捗率の記載を評価した理由は何か。</p> <p>2) 入札説明書に10者程度指名とあるが、どのように絞るのか。</p>	<p>2) NETISで評価した場合は、当該工事での留意事項で評価できないことになっていたが、今年の8月公告からは、両方で評価できることになっている。</p> <p>1) 復旧断面とコンクリートパネルとの離隔は付属金具で十分確保されるため、今後とも課題とはならないと考えている。</p> <p>2) ・ B社については、そのとおりである。 ・ D社については、資材等の運搬に際し、使用器具など具体的な記載があるため評価している。</p> <p>1) 地区特性も重要ではあるが、発注者側の監督者を支援するという業務の特殊性から、施工状況、現場検査等（工事の品質確保・向上）を行うため、それらの留意点等についてしっかり記載があることも重要と考え、このような評価となっている。</p> <p>1) 作業項目の記載が、公示した内容と異なっていたため評価しなかった。また、進捗率は着実な進捗が図られる工程の目安として評価した。</p> <p>2) 参加表明者全てを評価し、10者以上の場合は指名段階評価により絞り込む。</p>